

規範意識の向上と落ち着いた学習環境

美作市立作東中学校

1 はじめに

本校は県の北東部に位置しており生徒数127名の小規模校です。保護者や地域住民の方々のご支援をいただきながら「連携」をキーワードに、温かい教育活動を展開しています。学区全教職員が参加する「作東中学校区教育連携会」という研究体制を作り、日々連携を深めています。

2 具体的な取組

① 保幼小中が連携した取組

「聴く・考える・伝える」という重点目標のもと、保育園から中学校まで発達段階に応じて、同じ方向で教育を行っています。小中学校では、共通する授業改善の三つの視点（「目標を明確にして活動意欲につなげる」「自分なりの考えを持ってペア学習や班学習を行う」「授業内



中学校教員によるプログラミング授業

容と家庭学習をつなげる授業構成を行うことを意識した授業実践を行っています。昨年は、中学校で小学生と体験授業を行い、苦手意識の高い算数から数学へつなぐ取組をしました。

また、生徒指導部では、「挨拶・返事・靴そろえ」を保幼小中で取り組んでおり、年齢が上

がるにつれて基本的な生活習慣の定着や規範意識が高まってきています。

② 地域・保護者と連携した取組

本校では、地域学校協同本部事業、放課後サポート事業、土曜教育支援事業を活用して、地域の支援者や地元の高校生に学習サポートをしていただいております。落ち着いた学習環境の中で、学力向上の成果を実感してきました。その他にも、保護者と子どもがスマートフォンやゲームとの向き合い方を学ぶ取組も行っていきます。また、朝のあいさつ運動や、参観日の地域開放等を通して、地域の方々にも温かく見守っていただいています。職員も地域と共に学校を創る意識が高まり、確かな成果を感じています。

③ 生徒会活動の充実

生徒会や委員会などで生徒が主体的に活動できるように多くの場面を設けています。運動会や音楽会などの学校行事等は生徒会を中心に展開しており、人権集会では小学生を招いて共に議

論し、アンケートを実施するなど独自の活動も行っています。行事を通して様々な方々に、成長する生徒の姿を見て評価していただき、生徒達の自己有用感も徐々に高まっています。



生徒が運営する生徒集会

3 おわりに

今後も、これまで以上に「連携」を基盤とした落ち着いた学習環境を大切に、児童生徒の学力向上に取り組みます。そして、生徒・保護者・地域・学校が力を合わせて更なる高みを目指します。

(校長 新免道明)